

2010.9

発行/坂城町商工会
 〒389-0601 長野県埴科郡坂城町
 大字坂城10051番地
 TEL 0268-82-3351
 FAX 0268-82-8228
 E-mail cci@sakaki.com
 http://www.sakaki.com/cci/

題字/商工会長・鈴木秀典 発行人/関戸啓司 印刷/サンプリント印刷



まちがど

猛暑!!
 ~第33回坂城どんどん~
 立っただけで汗が噴き
 出る暑さの中、青年部・女
 性部、(商店街)にぎわい
 坂城の皆さんが会場を盛り
 上げました。

〈主な内容〉

- P 2~3 通常総会・鈴木会長県知事表彰を受賞
 商工会法施行50周年記念・事務局長紹介
- P 4~5 新支店長・各部会事業報告等
- P 6~7 シリーズおじゃまします
- P 8 青年部・女性部 編集後記

平成22年度通常総会開催

中小企業応援センター事業(新規)で経営支援の充実・強化を 会費の一律20%減額は継続

平成22年度坂城町商工会
通常総会が5月21日(金)、
会員325名(本人出席65名)
の出席を得て、商工会館大
会議室で開催されました。

今総会では、上程された
平成21年度(前年度)事業
報告、並びに収支決算、平
成22年度(今年度)事業計
画並びに収支予算書、会費
賦課基準等を原案どおり可
決承認しました。

役員の補充選任が行われ、
新たに理事・春日忠雄氏が



選出されました。

事業報告では、厳しい経
済情勢に対処するための国
の制度・中小企業緊急雇用安
定助成金の上乗せ給付の対
象となる「経営体質強化研
修会」を合計25回開催し、
受講派遣企業は、年間延べ
267社、1452名の受
講者数に達したことが報告
されました。一商工会が行
った研修実績としては、県
内同規模の商工会と比べて
もおそらく屈指の成果・実
績数字といえるのではない
でしょうか。(なお、22年度
もこの経営体質強化研修会
は継続して、シリーズで開
催中です。)

事業計画では、昨年度の
実施事業、中小企業が抱え
る経営課題をワンストップ(一
ヶ所で処理解決)で支援する
「地域力連携拠点事業」は、
国において、今年度から新
たに事業名称が変更となり

ました。新しい事業名称は「中
小企業応援センター事業」で、
新たに模様替えされた形で
スタートしました。同事業
は企業の「新事業展開」、「創
業・事業再生及び再チャレン
ジ」、「事業承継」、「ものづ
くりの高度化支援」、「ITを
活用した経営力強化」等の
高度・専門的な経営課題への
対応を支援するものです。

本県では二つ以上の機関・団
体が中小企業の経営支援を
連携・協力して行う形態(コ
ンソーシアム)により事業
推進し、商工会の関係では
県商工会連合会がその構成
法人となります。

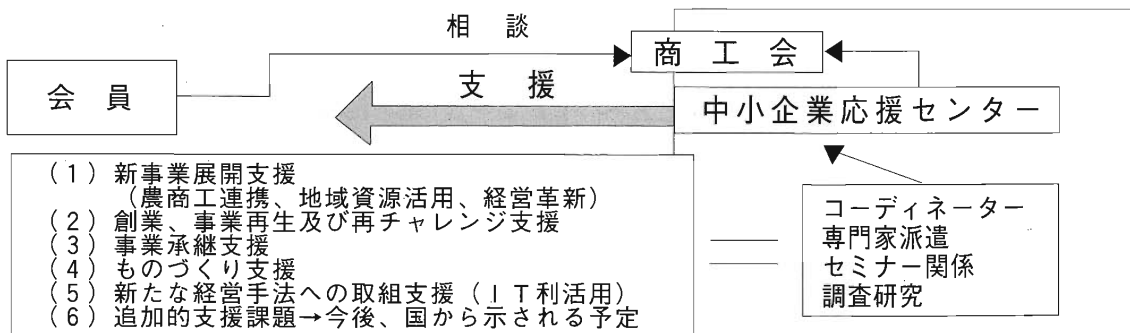
商工会では、企業の相談
ニーズに的確に対応できる
よう中小企業応援センター
事業をはじめ、エキスパー
トバンク事業、定例相談日(毎
月、第二水曜日)の活用等
により経営力の向上や、創業
経営革新など支援機能の強

化を図ってまいります。

また、会費額については、
会長あいさつでも言及され
たところですが、一昨年来
より続く、厳しい経済情勢
に鑑み、昨年度21年度は商
工会費を一律20%減額とさ
せていただきましたが、本
年度22年度もこの減額を継
続することとなりました。

今年度、平成22年度は、
昭和35年に商工会が法律(発
足当初は、「商工会の組織
等に関する法律」。その後
法律改正が行われ、現在で
は「商工会法」)により制
度化されてから半世紀、50
周年を迎える記念すべき年
であります。これを記念して、
県下各商工会でも様々な取
組みが進められています。
当会でも、50周年に併せ地
域に貢献する事業の一環と
して、釣りキチ三平当たり
くじ付き商品券の発行、次
代を担う子どもたちの育成
事業である子ども科学体験
教室の開催などを事業計画
に織り
込んで
います。

支援機関



全県商工会から関係者が集い

商工会法施行50周年記念式典を開催

今年度は、商工会が商工会法により法律に基づいて組織、制度化されてから、50周年を迎えており、これを記念して県内商工会の関係、本会でも各種事業が行われております。

7月14日には、県商工会連合会により長野市・ホテル国際21で、商工会法施行50周年記念式典が、県下商工会関係者および来賓が多数集まり盛大に開催されました。本会からも正副会長、青年部長、女性部長等が出席しました。第一部では、テレビ、

マスコミでおなじみの経済評論家、森永卓郎氏による記念講演、「変化の時代の企業経営」商工会の役割と地域貢献」と題しての記念講演がありました。

第二部、商工会法施行50周年記念式典では、この間の商工会の事業推進に尽力された物故者への黙祷、式辞、年表に基づき商工会50周年のあゆみの報告、記念表彰が行われました。

第三部、記念祝賀パーティーは、総数400名余の関係者により、50周年を記念する盛大なパーティーとなりました。

本会・鈴木商工会長、
県知事より
産業功労者表彰を受彰



坂城町商工会長 鈴木秀典 氏

当商工会の青年部長・理事としての就任以来、本会の理事、副会長さらには商工会長として、実に今日まで三十数年間にわたり商工会の役員を歴任されてきております。

6月10日、県庁講堂において県下、各分野において顕著な功績をあげられた方々への県知事表彰が行われました。当日は、産業功労、地方自治功労、教育功労、消防功労等の各分野別に功労者に対して村井知事から表彰状が手渡されました。

このうち産業功労者表彰で、本会・鈴木会長が晴れの受彰の栄に浴されました。

鈴木会長は、昭和52年、

また現在は、県商工会連合会の副会長として全県の商工会に関わられるなど、公的な、町関係各機関、各種団体の多くの役職を担っておられます。このたびの知事表彰受彰は、私も坂城町商工会並びに会員企業にとりまして、誠に名誉あることであり、こうした貢献を通じて意義深い活動が、県の立場からも高く評価されたものと存じます。

本年4月に着任させていただきました高山でございます。何卒よろしくお願ひ申し上げます。

着任後、初めての会報発行で自己紹介の場を与えていただきましたので、若干、お許しください。当会に赴任するまでは、県下商工会の場で三十数年余お世話になってまいりました。

3月までは、県商工会連合会に在職しておりましたが、この間、今は長野市に合併となった豊野町商工会、あるいは中信、東信、北信での県連支所等での勤務に従事してまいりました。

新任事務局長紹介



高山 誠市

ク以来、町内企業が厳しい経済環境にあることは、中小企業緊急雇用安定助成金の申請、金融斡旋などをみても如実に痛感させられます。「真に会員のために」を掲げる当商工会の旗印に沿い、微力ではありますが、会員皆様のお役に立てられるよう頑張っていくと思っております。ご指導をお願い申し上げます。

出身は、中信ですが既に北信のほうがはるかに長くなりました。親が製造業（製造関係）に携わっていた関係で学生の頃、鋳物工場を手伝っていたお願ひ申し上げます。

ご紹介

新支店長



山崎裕幸さん

八十二銀行
坂城支店

着任して二ヶ月、「坂城町の企業の皆様は、たくましい。」というのが私の印象です。今後とも微力ながら、皆様のお役に立てるよう頑張ります。



山下健一さん

長野信用金庫
坂城支店

この7月に着任致しました。地域発展に貢献できる様、微力ながら精進致しますので、今後とも長野信用金庫を宜しくお願い致します。



宮崎幸男さん

長野銀行
坂城支店

弊行創業六〇周年の節目に坂城支店へ着任しました。支店長として3店舗目となる当地で、精一杯頑張る所存です。よろしくお願い致します。



商業部会（新）お客様大感謝祭 「釣りキチ三平当りくじ付き商品券」の発売について

～第2弾を計画中～

当事業は、商品券お買い上げ5,000円につき、抽選券を1枚お渡しし、後日新聞折り込み等で賞品の当選発表をおこなうものです。

この事業は一過性のものではなく、年間を通して継続するイベントに仕立てあげ、プレミアム付き商品券とは違う魅力となるよう企画いたしました。

全国的にも、このような事業を継続的におこなう取り組みは少ないこともあり、まだまだ、改善点がありますが、知ってもらおう仕組み・魅力アップの方法等、研究を重ね、さらに魅力あるイベントとして計画して参ります。

第2弾は、皆さまのご意見を頂戴し、今年度中におこなう予定です。

建設部会

《住宅なんでも相談会》

建設部会では、9月5日(日)商工会館において「住宅なんでも相談会」を実施しました。

建築に関するすべてのご相談にお答えする相談会で建設部会幹事9名が商工会館に集まり、午前9時から午後1時まで電話でのご相談にお答えしました。

相談内容は左記の通りです。

★ご相談1

「サンルームの雨漏りについて」

《相談者》
先日のゲリラ豪雨でサンルームが雨漏りし困っています。どのようにすればよいですか。

《回答》

サンルームの屋根のフレーム部分からの雨漏りだと思われれます。フレーム部分に屋根の上からコーキングを施していただければ処置できると思います。

★ご相談2

「床暖房について」

《相談者》
今住んでいる住宅を床暖房にしたいと考えていますが、

イ どんな種類があるのですか。

ロ 居ながらの住宅に床暖房工事をする場合にどのくらいの工期が必要ですか。

ハ 床暖房以外の方法でお勧めの方法はありますか。

《回答》

イ 床暖房の種類には、以下のものがあります。

・電気式(床下電気パネル設置方式)

・灯油方式(灯油で温めた水を循環させる方式)

・ガス方式(ガスで温めた水を循環させる方式) 施工業者は給排水設備工事業者

・ガス方式(ガスで温めた水を循環させる方式) 施工業者は給排水設備工事業者

ロ 工期の一番短いのは電気式ですが、面積や諸条件によって工期・工事金額は異なりますので、それぞれの業者さんから見積もりを取ってお客様にとって一番良い方式を検討された方が良いと思います。

ハ 床暖房以外の暖房方法については、諸条件の相違があるので一概には言えませんが、今多くなってきたのが部屋自体の断熱性を高め(壁面・天井・床下に厚い断熱材を入れるなど)パネルヒーターで暖房する方法です。施行面積が大きければ、エコキュートを利用し電気代を抑える暖房方法もあります。

★ご相談3

「太陽光発電の売電期間について」

《相談者》

太陽光発電の電気を電力会社が買取ってくれるのは、10年までと聞いたんですが、10年限定だとメンテナンスも必要になってくるようですし、太陽光発電のメリットはあるのでしょうか。

《回答》

電力会社の買取り期間は、買取りを始めた月から10年です。10年経過後の買取りについては現在決まっています。おっしゃる様に維持費用もかかるので、損得だけで判断すると必ずしも有利と

は言えないかもしれません。

★ご相談4「サッシのエコガラスへの交換について」

《相談者》

1 サッシをエコガラスに交換するのに費用はどのくらいかかりますか。

2 サッシ全体の交換をするのであれば、「インプラスサッシ」

(既存のサッシの室内側にも一つ樹脂サッシを設置する方法)を考えた方が、サッシ枠との間に隙間が出ないでしょうか。

3 出窓についても断熱効果を高めたいが良い方法を教えてください。

《回答》

1 エコガラス(ペアガラスの外側ガラスに断熱効果のある金属膜をコーティングしたもの:LOWE複層ガラス)を入れるためにはサッシ枠の溝幅が20ミリメートル程度必要です。従来のサッシではエコガラスを入れるには対応できない溝幅です。で、エコガラスにするためにはサッシ全体の交換が必要です。費用は、幅1600ミリメートル高さ1200ミリメートルで概ね4万円程と思います。なお、エコガラスはエコポイントの対象となります。

2 現場で寸法をあたつてのオーダー仕様なので、隙間は出ません。なお、インプラスサッシもエコポイント工事の対象となります。

3 出窓についても、従前のサッシと規格が違つてきているのでサッシ全体の交換が必要になります。

★ご相談5「設計の中途解約における設計料の負担について」

《相談者》

設計士さんに図面の設計を依頼したが取りやめる場合、設計料は支払わなくてはならないのでしょうか。

《回答》

設計に入る前に建築士法による重要事項説明を受け、内容をご理解いただいたうえで契約となり設計業務に入ります。国土交通省の告示15号により業務報酬額が決まられていますので、それに基づき作業時間を算出して清算することになります。

従い設計内容の進捗状況により双方理解のうえで前記に基づいて精算することになります。

★ご相談6「新築住宅の建築の際の留意点について」

《相談者》

1 建築はハウスメーカーと在来工法とどちらが良いか。

2 外壁材はどういうものが良いか。

3 1階建ての方が建築コストが安いと聞いたが。

《回答》

1 ハウスメーカーは工期的なメリットはありますが、在来工法の良い点は下記の通りです。

・自由な間取り、自由な建物形状を取り込むことができます。
・経験豊かな職人による家づくりができます。
・出来栄を確認する場合は、建築後の住宅見学や建てられた方の聞き取りにより判断ができます。

2 外壁材は塗り壁、サイディング等ありますが、住む人の選択肢になると思います。いずれの外壁材の場合も15年ぐらいを目途にメンテナンスを考慮してください。また、内装材はできるだけ自然素材を組み入れた健康的な住宅建設をお勧めします。

3 投影面積から見ると屋根面積、基礎工事面積が平屋の方が大きくなるので多少割高になると思われます。

★ご相談7「合理的な不動産の生前贈与について」

《相談者》

住所を移転する予定で、現在住んでいる土地建物は子に譲りたいが、贈与税が心配です。できるだけ税負担を節約できる方法はありませんか。

《回答》

一般財産を贈与する方法として、相続時精算課税制度があります。この制度の概要は左記の通りです。

(対象者)

1 贈与者 65歳以上の親

2 受贈者は20歳以上の贈与者の推定相続人である子

(計算方法)

贈与の財産価額から2500万円を控除した残額に20%の税率を掛けた額が贈与税額(手続)

贈与税の申告期間内に添付書類を添えて相続時精算課税選択届出書を税務署へ提出

(メリット)

・2500万円まで贈与税不要
・財産を受贈者に移転登記可能
・財産価値が上昇したときの上昇分(贈与時価額で評価)

(デメリット)

・財産価値の下落分
・暦年課税制度(基礎控除額10万円)は適用不可

工業部会

「子供科学教室」

工業部会では、8月7日(土)に(財)さかきテクノセンターとの共催で「夏休み子ども科学体験教室」を開催しました。今年度は商工会法施行50周年記念事業として当事業を実施し、参加した小学生全員に記念品を贈りました。参加者は、町内小学生40名・保護者他34名で、工業部会幹事の皆さん5名にもお手伝いいただきました。

今年テーマは「ロボット講座と工作教室」で、(株)イクシ

リサーチ代表取締役の山崎文敬先生にご指導いただきました。日程は、ロボット講座を1時間、その後ロボット組立を1時間30分行いました。

ロボット講座では、工場やプラント、住宅などの点検業務用の「遠隔操縦型ロボット」や災害地等の不整地での移動、段差スロープのある環境を移動し必要な情報を基地局へ無線伝送することが出来る「探査型ロボット」など実際に現場で活躍しているロボットを先生に紹介・解説いただく内容でした。

ロボット組立では、二足歩行のダチョウロボット製作に挑戦しましたが、予定時間を30分延長しましたが、一人で完成させた人、お父さんお母さんに手伝って組み立てた人など、苦勞しながらもそれぞれに完成させ、速さを競うロボットレースを楽しんでいました。





おじゃまします

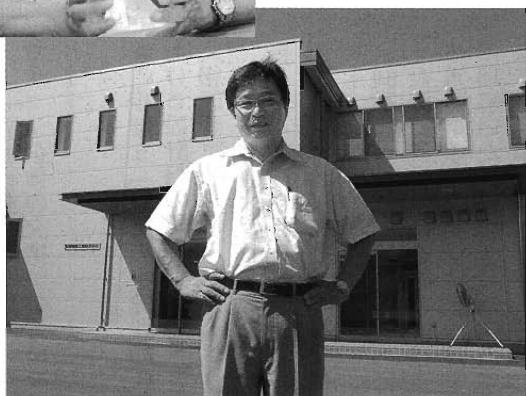
さかき新企業人インタビュー⑨

鈴木雅視さんプロフィール

昭和樹脂工業株式会社 代表取締役社長

昭和37年、千葉県生まれ。大学まで生まれ故郷の千葉で過ごし、大学卒業後は商社に就職。22年前、創業者で父の太郎氏の後を継ぐべく坂城町の現会社へ。商社時代とは畑違いの仕事とはいえ、「門前の小僧」で業務全般に携わる。創業50周年を迎えた今年は新しい社屋をつくり、「第2の創業」との思いから新たな事業展開にも着手。奥様と高校3年の長男、中1と小1のお嬢さんの5人暮らし。休日には地元ソフトボールチームで汗を流す。

創業50年、半世紀の社歴を持つ 医療系プラスチック容器の リーディング カンパニー



創業50周年を迎え、この春には新社屋を完成させた昭和樹脂工業。県内では唯一の医療系プラスチック容器製造会社である同社の鈴木雅視社長に伺いました。

御社の歴史をお聞かせください。

「会社の創業者である父。太郎はもともとアルコール発酵技師で、昭和28年に坂城へ来て技師として働いていました。ちょうどその頃、お酒を入れるプラスチック容器が回り始め、父はこの坂城でプラスチック製ウイスキーコップの製造を始めました。昭和35年のことです。2年後の37年に株式改組。コップのほか塩容器の出し口や灯油ポンプ、スプレーなど、各種プラスチック製品を製造して事業を拡張しました。

当社の主力である医療関連製品は、昭和40年に森下製薬さんと共同開発した輸液用吊り具（ホルダー）から始まりました。当社はこの製品の全国シェア約8割を占め、当社の基盤を作ったといっても過

言ではありません。その後も吸引器用容器や理化学検査容器、点滴などの注射剤容器等の医療用具を手がけ、現在生産している製品の約8割は医療理化学系（内約5割が吸引機関連）で、その他は健康食品や化粧品等の容器やキャップなどです」

社長ご自身の経歴は？

「私は生まれも育ちも千葉県。大学を出て4年ほど材料商社に勤め、こちらに来たのは昭和63年です。父は事業所のある坂城と千葉の実家を行ったり来たりで、小さい頃は父の仕事を見ることもなく、家業を継ぐ意識はあまりありませんでした。意識し始めたのは大学に入ってからです」

「御社では「クリーンルーム(*)」という設備がおりだとお聞きしましたが。

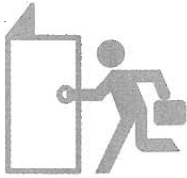
「当社は中堅の成形メーカーとしてはずらしく、早い時期から『クリーンルーム』を整備して衛生・品質管理を徹底してきました。当社規模でクリーンルームを稼働させているところは少ないようです。プラスチック成形の分野は大手が強く、我々中堅が戦

っていくには特化した武器がないと太刀打ちできません。ひとつは大手と違い小回りがききますので、小ロットでの製品受注、大量生産など、幅広いクライアントのニーズにフレキシブルに対応しています。もうひとつは、医療に関わる製品ですから品質管理や衛生管理の面で安心していただけるよう『クリーンルーム』を整備し、徹底的な衛生・品質管理に努めています」

「最近の業績ですが、製造業全般にまだ景況は厳しいと思われませんが、

「当社の場合、医療関係が中心ということもあって、景気に大きく左右されることはないようです。ただ、今後は海外との戦いがいつそう厳しくなるでしょうから、体力を強めるために特色ある企業でなければならぬと思っています。プラスチック成形の中でも射出成形やブロー成形（中空成形）の分野で、より技術力、開発力を進化させ、事業を展開していきたいと考えています」

* 空気中のゴミやホコリ、細菌などを除去した清浄な部屋



おじゃまします

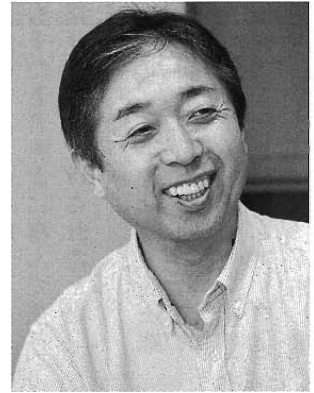
さかき新企業人インタビュー⑩

柳澤一男さんプロフィール

ヤナギサワカメラ 店主

昭和34年、坂城生まれ。大学卒業後、東京工芸大学短期大学部で写真技術を習得。卒業後は都内で写真撮影業務に携わり、昭和62年に実家のヤナギサワカメラを継ぐ。現像DPEのほか、カメラマンとしてスタジオ撮影、学校などでの集合写真撮影なども。自身が撮った山岳写真や風景写真で個展を開き、ゆくゆくは写真集を出版したいと、休日や出張時には各地でファインダーをのぞく。

カメラを通して地元之恩返し 美しい風景を美しくプリントして 観る人をなごませたい



坂城でカメラ店を開いて半世紀。カメラが高級品だった時代から、今や誰もが簡単に撮れるデジタルカメラに変わったが、写真を美しく仕上げるのは、結局、「人間のアナログなこだわり」ではなからうか。柳澤さんと話していてそんな思いを持った。

「カメラ店として50年の歴史があるそうですね。」

「カメラ好きの父が昭和33年に始めましたから、もう半世紀。当時、カメラは高級品でしたから、ショーウインドウにはカメラの現物ではなく、カタログを並べて注文をいただいた、といったエピソードもあります」

「社長ご自身も小さい頃から写真がお好きだった？」

「それが好きではなかったんですよ(笑)、身近すぎたからでしょうか。しかし大学を卒業してカメラをやりたいとなり、写真専門の東京工芸大学短期大学部(当時)に入りました。それから写真漬けの毎日です(笑)。卒業後は都内の撮影スタジオに入り、

主に婚禮写真を撮っていました。坂城へ戻ったのは父が2号店を出すことになり、この店を私が任されることになったからです。私が戻ってカメラ現像処理機を自社導入しました。それまで外部に出していたのを自社で現像プリントすることで、時間が短縮し、色味や仕上がりを自分で品質管理でき、お客様のニーズに応えられるようになったと思います。ただ、私自身、仕上がりにもこだわるので連日徹夜になることもたびたび。いま思うと若かったから出来たのかなとも思いますね(笑)」

「今やカメラもデジタル全盛。フィルムというアナログな世界からデジタルに変わりましたが、その流れをどうお考えですか。」

「現像プリントから画像処理に変わり、作業自体は効率的になったと思います。ただ量販店の作業は画的で、仕上がりが(プリント)に満足されない方も少なくないようです。特に昔からの写真ファンには。そうした方々の満足を得るには、やはりこだわりの大切でしょう。ウチのような

小さなカメラ店はなおさらです。より専門性を高め、お客様一人ひとりのニーズに合わせてきめ細かく対応して、撮影実技の相談にも乗れる、そんな店を心がけています」

「カメラマンとしては？」

「撮影は半分趣味ですが、卒業アルバム撮影制作、遺影用のスタジオ撮影なども人気があります。これは生業としての撮影ですが、自分の撮りたい被写体として山岳風景を撮り続けています。長野には北アルプスの涸沢や戸隠鏡池、白馬八方池はじめ素晴らしい撮影スポットがいっぱいあります。撮り溜めたものをいざれ写真集として出したいですね。それと、これはボランティアというほどではありませんが、老人ホームや公共施設に写真パネルを飾ってもらうことも続けています。地元への恩返しという気持ちもあります。もうひとつ、みんなで美しい風景を体感できるように、トレッキング感覚で気軽に参加して、楽しめるようなツアーをコーディネートしてみたいという夢もあるんですよ。」

青年部

夢いっぱい青年部

青年部副部長 玉井智樹

今年度の青年部も中島代表を中心に新入部員4名を加え精力的に活動をしています。

その中でも、ばら祭りは悪天候の影響もあり花が咲くのが遅く一週間伸びて3週間の出店となりました。

延長による人手不足を町と商工会長より任を受け青年部がお役に立てたことは部員の協力の賜物であります。

坂城どんでは自稱県下最大級の水槽(1・5m×4m)による金魚すくいを目玉にし、子供たちの驚いた顔と笑顔が見れてよかったです。イベントでは昨年好評だったスイカ割りや新企画水鉄砲でのおもちゃ取りゲームを行い、これもまた老若男女に喜んで頂き祭りを盛り上げられたと思います。

さて、今年度は商工会法施行50周年の節目を迎え全国的なイベントも行われています。全青連ではクリーンアップ全国大会を8月26日に実施し全

国1500余の単会同志が一斉に清掃活動を致しました。我が青年部も30名参加し田町交差点付近と昭和橋、役場周辺などの清掃活動をいたしました。缶は少ないですが吸殻はまだまだ多いと感じました。

今年度、初の試みと致しまして戸倉上山田商工会青年部・女性部との合同研修会を滝沢女性部長と協力して行います。

これから年末に向け辛味大根まつり・研修旅行そして第38回年末チャリティーと準備を進めて参ります。今年も「名入れだるま」注文のご協力を宜しくお願いいたします。そして、A・B・NふるさとC・M大賞への参加を町より要請を受けました。昨年の優秀賞と同等の賞をめぐし制作しております。テーマは特産物とテクノロジのコラボレーションです。(予定)



これから年末に向けて一致団結してがんばりますので皆様のご理解とご協力を宜しくお願いいたします。

女性部

女性部副部長 朝倉妙子

年々イベントとして、盛り上がりを見せる「バラ祭り」に、商工会女性部初の試みとしてコーヒー、ジュース等の販売を行いました。回を重ねて、5回のバラ祭りという事で、連日、大変な盛況でした。

期間は6月1日〜6月13日の間でしたが、会員が当番を組み、販売もさることながら自身の目の保養にもなり、楽しい期間でした。

中野のバラ園、坂城のバラ園と両方をご覧になった方が多いのには驚きましたが、坂城のバラ園は、広々とした環境の中で、色とりどりのバラが一目で見渡せるというすばらしさがある。と話されていたご婦人の感想が印象に残っております。

また、6月14日には小布施



町商工会女性部の方が7名、見学に来て下さり、薔薇人の会の方々のご努力に大変感謝されておりました。

坂城町は工業の町と知られると共に、花づくりの町として長年歩んできました。

バラの咲く時期になると、老若男女、県内外の方々が「バラ祭り」に訪れます。商工会青年部のホームページでも、その成果が現れており、嬉しい事です。

今回は、缶飲料のみの販売となりましたが、今後の女性部として坂城町の大イベント「バラ祭り」をますます盛り上げる為に、知恵を絞りたいと思っております。

会員の皆様には日頃の御協力を感謝いたすと共に、今後の各行事にもふるって参加して頂きたいと思っております。

編集後記

「愛」を研究している大学教授に寅さんが説教を始める。「常識だよ。いいかい。あー、いい女だと思っ。その次には話して見てえなー、と思っ。話しているうちに今度は、いつまでもそうやっていたいなあ、と思っ。その人のそばにいたで、何か、こう、気持ちがかうかくなつて、あーこの人を幸せにしてあげたいな、と思っ。この人の幸せのためなら俺はどうなつたつていい、死んだつていい、とそんなふうにするようになる。それが愛よ。違つかい。」

(関戸)

広報編集委員会

- 委員長 関戸 啓司
- 副委員長 春日 忠雄
- 委員 池田 尚弘
- 委員 佐藤 洋子
- 委員 中島 新一
- 委員 滝澤 洋子
- 委員 宮下 智彦